



ありんこ便り

由木かたくりの会の家族会「ありの会」会報

2021 年
3月5日発行
通巻第 42 号

「ありの会」へのご意見・ご要望は 〒192-0355 八王子市堀之内1236-8 社会福祉法人由木かたくりの会気付「ありんこポスト」までに郵送するか、「ありんこポスト」に直接投函して下さい。Eメールで送る場合のアドレスは《 arinko_renraku@yahoo.co.jp 》へ。ホームページは《 <http://arinkorenroku.g2.xrea.com/> 》です。

～～ ありの会 発足 10 周年 記念特集 ～～

「ありの会」誕生のころ

ありの会 初代会長 小川原 健太

もう 10 年もたったか。創立の前後はやたら忙しかったように思うが、記憶がいささか薄れているので、「ありんこ便り」や「規約」を見たりする。「規約」は 4 頁、第 15 条までと附則、ずいぶん大真面目に作ったものだなと感心する（やや呆れ気味）。そうだ、これを作るためにはほぼ 1 年かけて、月 1 くらいに保護者有志が集まって議論して練り上げたものだった。誰かの思い付きで数日にして出来たなどというものでは決してない。それほど時間をかけて準備したのは、それなりの理由があったのだった。創立総会で、誰かが会のあり方につき感想、意見をメモ書きして私に手渡したものを発見した。当時の雰囲気がよく表れていると思われるので紹介したい。

《メモ書き》

- ・20 年以上たっている。保護者の意識の差を感じる。昔は手作りで作っていた。互いに顔が見えていた。田植え、忘年会。職員・メンバー・保護者会。
- ・今は、法人になり人数が増え、顔が見えなくなっている（連絡網の前後でも顔が思い浮かばない）。今のかたくりの状況にふさわしい、また、親ぼくを図れるようにしたい。
- ・役員まかせではなく、皆から出してもらって作っていく方法で考えている。
- ・報告（上→下）が多く、家族から意見を出す雰囲気がなくなっている。
- ・職員の異動がはげしくなっている。

なにか現在にも通じる面もあるが、状況は異なり、もっと切実な背景があった。かたくりの会の変化の 1 つの大きなターニングポイントは、メモ書きにも触れられているように、かたくりの会の法人化（平成 17 年 12 月）であった。保護者の立場からは端的に言えば、法人化以前の「手作り」と以後の「お任せ」の違いではないか。野口洋子（前理事長）をリーダーに保護者有志がかたくりの会を結成し、自前でやってきて、法人化と現在の堀之内の建物を新築して、現在のかたくりの会につなげていくのだから、その労苦たるや並大抵のものではなかった（野口洋子著「かたくりの会と私と」参照）。

親も「お任せ」ではいられなかった。「平成 16 年度・保護者会会計報告」でみると、＜月会費 ¥5000×12ヶ月×35名＞で 210 万円、入会金 3 人分で 30 万円、前年度繰越金を含めて 400 万円近くが報告されている。（ありの会の年会費 6000 円は、この保護者会費の 1/10 で設定。当時としてはずいぶん割安感があった）。同時報告の「建築積立」では、霊園（3、7、9 月）の販売、ガーデンシティ、フリーマーケットに出店して稼いだ。私が担当したガーデンシティは、5 月ゴールデンウィークにパルテノン多摩で開催される福祉祭り（ガーデンシティ）にフランクフルトを売った。すべての親に割り振るスケジュールで 3 日間。30 万円近い売り上げがあったときもあった。この建築積立金は前年度繰越金を入れ 1000 万近くになっている。「手作り」とは、保護者会の会費を払い、色んな行事に出店して稼いだことをいう。保護者会も結構賑やかであった。つまりかたくりは会と親が一体になって作ってきたのであった。

平成17年12月、社会福祉法人認可。平成18年9月、かたくりの現在の堀之内の新館完成。法人化でなにが次第に変わっていったか。親の立場から、単純化して言えば、公の支援があるから、親が「手作り」でしょっちゅう顔を合わせてがんばらなくともよくなったこと。自分の例でいえば、3、4年間の、5月のゴールデンウィークはフランク販売を担当、自分や家族のために利用したことはない。ほっとしたような物足りないような。また「法人になり人数が増えた」こと、「保護者の意識の差」も出てくる。メモ書きが記すように、お互いの「顔が見えなくなって」きて「連絡網の前後でも顔が思い浮かばない」状況になってくる。これは法人の側からいうと、以前のように保護者会に諮ってあうでもないこうでもないともたまたするより、理事長や施設長のトップが、こうしたい、こうするというのを「報告（上→下）が多く、家族から意見を出す雰囲気はなくなっている」、その方が万事やりやすい。効率的であるという面もあったのでは。

また「職員の異動がはげしくなっている」も実際に、送別会ではなかなか厳しい意見がだされた。塵一つ落ちていないピカピカの新館では、「手作り」の仲間が気安く集まって冗談を言う雰囲気は薄れていたように思う。こんなでいいか。従来のかたくりの会保護者会と異なる独立した保護者会を創る学習会（規約作り）が始まった。

ありの会が誕生した平成23年は激動の年であった。3.11東日本大震災。4.11発行の「ありんこ便り」1号には、題字の下にお見舞いの文を載せている。12.15発行の「ありんこ便り」5号は、9頁のうち3頁まで、第1回「フェスタかたかご」の写真記事で溢れかえっている。「顔が見えなくなった」のは、かたくりが堀之内、松木、南大沢と分散した影響もある。一堂に会し親睦を図るのが我々の当初の願いであった。理事長も、かたくりをここまで引き上げてきた、残るは念願のケアホームの建設のみ。堀之内町



2011年3月26日 設立総会

内会会長を副理事とし、施設長も新しい人が予定される。これに保護者や職員も一丸となって支援してくれたらどんなに心強いのか。この両者の思惑が共振し、盛大なフェスタとなった。ところが同じ号の5頁中から「理事会が新体制に」と、理事、評議員の名前が載り、次頁で「新理事長」炭谷晃男のあいさつ文と顔写真。「え！野口さん辞めたの？なぜ？この人（炭谷さん）だれ？」。炭谷さんは理事ではあったが、一般会員にはなじみが薄かった。この「フェスタかたかご」が2回目から地域に開かれて、現在につながる。11月初旬の日程になったのは、ありの会が発足して、こういう会を主催できるまでの準備期間であった。

交代した理事長は積極的に情報公開し、職員間、保護者や利用者となえ基本的に「上→下」にならないように配慮されている。以前に較べたら「お任せ」でも事足りているように思えてくる。このコロナ禍でも、会とグループホームを閉じることなく維持された。「ありの会」もこれを応援、よくがんばっていると思う。

心残りなこと。かたくりの防災対応。震災の日、私はたまたまかたくりに行ったが、一利用者の言動にショックを受けた。本人が帰宅しても親が都心の外出先からすぐに戻れなかった。防災対策についてはかたくり側と話し合うようになった。万が一、親が引き取りに來れない場合はどうするか。かたくりの建物に泊まるしかない。とりあえず寝袋を買いませんか。食料の備蓄は？2日間はかたくり（つまり職員）で、それ以降はありの会で面倒みるとか案は出るが決まらない。そのうちあの震災の記憶、緊張も薄れてくる。いつ来るか判らない、来ない方がいいという話はなかなか進展しない。そのうち私も任期がきて会長を退く。その後、かたくりでは防災マニュアルもしっかりできたようだが、どうなっているのか。かたくりのグループホームができる前の話であるが、いまこれが2棟もできるなど状況が変わっている。いまコロナ禍で防災どころではないだろうが、近ごろは「震災は忘れないうちにやってくる」とか。いずれコロナが落ち着いたら、今回のコロナ対応の総括も含めて、防災について法人とともにありの会もしっかり学習して周知して欲しいと思う。

ありの会 10 周年の祝辞

社会福祉法人 由木かたくりの会
理事長 炭谷 晃男

ありの会 10 周年誠におめでとうございます。法人は 15 周年になりますが、家族会はそれ以前の長い歴史があり、これまで活躍されてこられた皆々様に敬意を表します。まさにかたくりの花はアリが運んで広めるとの喩えから家族会の名称をありの会と称し、社会福祉法人由木かたくりの会の活動を後援会とともに支えてこられたことに感謝申し上げます。

支援といってもたくさんの方がいます。成人になれる利用者や勤続 10 年になる利用者さんに記念品を贈られたり、利用者、職員及び家族のふれあい旅行などに支援を頂いたりしています。そればかりか、フェスタかたかごを企画段階から一緒になって手伝って下さったり、福島県の障がい者団体の授産品の共同購入を一緒に行っていていただくこと。さらに、今年は自主生産品の売上げが伸びていないと聞くと、利用者家族に金券を配り、売上げに協力して頂きました。大変すばらしい活動を次々に行われ頭の下がる思いです。

ただ、家族の中にも、法人化以前と以降とでは少し意識の違いも見られるようになり、さらに家族同士の交流親睦も必要となってきたように思います。家族同士の理解・協力の上に、これからも法人に対しての強い支援を期待しています。私たち法人も家族会の期待と協力を得て、ますます前進してまいります。

ありの会 10 周年に寄せて

社会福祉法人 由木かたくりの会
統括管理者 小金淵 敏之

10 周年おめでとうございます。ありの会の皆様の活動について、法人統括管理者として心より感謝申し上げます。私自身、ありの会様との関わりは途中からとなりますが、定期的に集まり打合せを行っている姿に「変わらず、パワフルで活動的だなあ」と、僭越ながら感心した記憶があります。法人との定期的な打合せの中では、利用者ファーストの中で、つい忘れがちになる「ご家族の想い」に気づかされておりました。

ありの会の目的のひとつに「会員相互の親睦」とあります。横のつながりでしょうか。法人としても、ご家族との『つながり』を大切に、法人運営に取り組んで参りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

これからも手と手を取り合って 共に歩まれることを

由木かたくりの会 監事 土居 幸仁
(認定 NPO 法人 CES 事務局長)

「ありの会」の設立 10 周年、おめでとうございます。

さて、毎月お子さんが事業所から「法定代理受領のお知らせ」(「給付費受領のお知らせ」)を持ち帰られていると思いますが、このお知らせは「誰が (A)」「誰を (B)」「何を (C)」受領しているのか、ご存知でしょうか？これは、本来行政が障害当事者の方に支払うべきお金を、事業所が、障害当事者の方に代わって (代理して)、〇〇円受け取りました、というお知らせです。つまり、A には「事業所」が、B には「障害当事者」が、C には「介護給付費等」が入ります。

見かけ上は、行政が障害当事者の方にサービスを提供した事業所にその対価である介護給付費等を支払っているようですが、実際には、事業所に対価である介護給付費等を支払っているのは、サービスの受け手である障害当事者なのです。現状は、事業所を指定するのも市町村ですし、事業所にお金を支払うのも市町村ですし、事業所の監査するのも市町村ですし、どうしても事業所は市町村の方を見ながら仕事をするようになってしまいがちです (これは私自身そうなっていることがあり、自戒を込めて書いています)。

なので、ご家族には、このお金の流れを理解して、実際には、お子さんが事業所にお金を支払っているという意識

をもっていただきたいし、それ以上に、事業所や事業所の職員は、このお金の流れを意識することが大切だと思います。

障害当事者の皆さんは、消費者として自分が欲しいと思うサービスを買う。お店である事業所は、その対価を得る。単純明快です。但し、障害福祉のような対人のサービスの場合、お互いを理解するには時間がかかりますし、外食のお店を選ぶのとは訳がちがいます。なので、ここはサービスが悪いからすぐちがうお店（事業所）に行こうではなく、ご家族には、一緒に良くしていこう、一緒に育てていこうという姿勢を持っていただければと思います。

とはいえ、ご家族は、私たちが思っている以上に、子どもの面倒を見てもらっているの、遠慮して意見を言えないことが多いと聞きます。その点、かたくりの会には、「ありの会」という家族会があり、法人と定期的に協議の場を設けているのは、とても意義のあることだと思います。家族会の運営はボランティアですから、この10年間、そのご苦労は大変なものだったと思います。皆さんの努力に改めて敬意を表します。

障害当事者の幸せのため、「ありの会」と法人がこれからも、手と手を取り合って、共に歩まれることを願っています。

私も、本当に微力ですが、監事として法人運営やありの会の活動に寄与できるよう努めていきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

ありの会 10 年をふり返って

ワーキング・グループ 備前 良雄

2011 年の 3. 11 東日本大震災による未曾有の被害と混乱、悲しみの中、3 月 26 日に「ありの会」は設立総会を開きました。設立当時は「かたくりの会」の職員・家族のコミュニケーションの円滑化、親睦を図るという大きくはつきりとした課題があったので会員の結束は固く、確かな足取りで歩みを始められたと思います。

総会の後、4 月 11 日には「ありんこ便り 第 1 号」が発行されました。かたくりの会内では初めての定期刊行の広報誌として、年 6 回かたくりの会内の様々な出来事を広報して来ました。その後法人からは「かたくり通信」が発行されるようになり、ありんこ便りは家族会の会報として今日までに 42 号と刊をかさねて来ました。ありんこ便りのバックナンバーは全てありの会のホームページに掲載されていますので、この機会に是非見返して下さい。見出しと写真を見て行くだけでもこの 10 年が蘇ってきます。HP は《 <http://arinkorenraku.g2.xrea.com/> 》です。



念願の全体親睦会は「フェスタかたかご」として 2011 年 11 月 5 日に開催されました。職員、家族皆で準備しました。

ありの会設立以前は、法人が各月で定例会を開いていましたので、しばらくはそのまま定例会として各種の講演会、学習会、見学会を企画して開催しました。



2012年1月14日



2012年9月13日



2013年1月24日



2013年8月3日地域の方々とシュークリーム作り



2014年3月24日グループホーム見学会



2014年5月15日 かたくりの家の花壇柵の修繕



「ありの会」は、これまでにさまざまな活動をして来ました。これらの活動はありの会会員からの会費と、会員より選出された役員の協議、そして何よりも会員皆様の参加によって支えられています。そして、10年が経過し先人、関係者各位の努力の成果として、「かたくりの会」「ありの会」とにもある姿へと安定化して来たように思います。

このこと自体はとても良い事だと思いますが、当初の共有していた課題、目的が希薄化・多様化してきています。かたくりの会の利用者数も100人にせまり、新しい会員の方々が増えて来ました。左のグラフのように2010年より以降に入所されたかたが42%と3分の1を超えています。

現在の法人の事業内容はホームページにとても分かりやすくまとめられています。《 yugi-katakuri.or.jp 》これらのさまざま

な事業、サービスに対応して利用者さんの関わり方も多様になって来ています。したがってご家族の抱えている問題、課題。要望もまた多様なものとなっていると思います。

これからの10年を考えるとまだまだ色々な解決したい課題を抱えており、現実の運営は難しい状態が続くと思います。しかし、気候温暖化などの誰もが避けられない問題が迫り、それがコロナによって加速され、これまでとは違う新しい社会関係、社会参加の風が吹き始めている感じがします。ありの会もより広く開かれた「家族会」のありかたを、法人や後援会とも協議しながら「広い視野と長いスパンで、じっくりと」求めて行く事が大切だと思います。

金券利用期限迫る！ 3月15日まで

昨年末「ありの会」10周年記念として「かたくりの会」で運営するお店で使える金券（1500円分）をお届けしています。

現在多くの方々にご利用いただいておりますが、未だ回収率は半分程度に留まっています。お手元に未使用の金券がありましたら、3月15日までに是非ご利用下さい。

福島県の授産品の購入にもご活用いただけますので、合わせてご案内致します。

2月21日発の「第10回福島県福祉施設授産品共同購入2021のお願い」をご参照下さい。3月12日が申し込み締め切りです。

10周年記念品として同時にお届けさせていただいた連絡帳ケース、記念キーホルダー、名前入りハンドタオルについては、気に入っていただけましたでしょうか。合わせてご利用下さい。



次期役員候補の中間報告

既にお知らせの通り次期役員候補者の選出にあたり、募集をさせていただきましたが、積極的な立候補者はいらっしゃいませんでした。

「かたくりの家」は元々は保護会が主体になって、設立されましたが、その後規模の拡大とともに、2005年に法人化と同時に、保護会は、改めてありの会として発足し、今年は設立10周年の記念すべき年になりました。

ありの会は単なる親睦団体ではなく、利用者の為の、支援団体でもあります。利用者の健康を守り、成長に寄与するために、法人と問題点を共有し、ともに解決を図るためにも、不可欠な組織と考えております。

その為には会員の皆様が、公平にまた交代で役員となり、会の運営に協力していただくことが重要です。現役員から手紙や電話でお願いし、何とかご協力いただける方がほぼ出揃いましたが、なかには事情によってお受けできない方もいらっしゃいました。

遠方である。高齢である。忙しい、健康がすぐれない、パソコンが使えないなどがその理由ですが、お引き受けいただいた皆様にもほぼ共通の事情があることも判明しました。

また現役員の中にも、都心から1時間以上かけて通っていらっしゃる方、パソコンは苦手だけどご主人の協力を得て、対応されている方もいらっしゃいます。

来年度以降立候補者が現れない場合は、公平性を期す為に、さらに輪番制を徹底していかなければならないと思います。何卒積極的なご協力のほどよろしくお願いいたします。



万が一コロナに感染したらどうしますか？

これまで職員や保護者の皆様の懸命なご努力によって、コロナを封じ込めて参りましたが、今年になって、ついに感染を免れることができず、3名の利用者及びその家族の方が感染してしまいました。しかしながらその後も引き続いてしっかりと対応していただいたことにより、極めて限定した期間、一部の当該事業所を閉所するに留まり、クラスター化は回避することができました。

既に感染予防策については、法人より1月29日発刊の「かたくり通信」と同時に、「新型コロナウイルス感染症都民に向けた感染予防ハンドブック」が配布されております。

詳細は改めてご覧下さい。

ここでは感染が疑われた場合どうするかを、東京都が公開している情報と、実際感染した経験者からの体験談をもとに手順と留意点をまとめてみました。

◎ 感染が判明してからでは遅い！

感染予防ハンドブックから

感染症対策5つの約束

1. 常にマスクを忘れない
2. 常に手洗いを忘れない
3. 常に換気を忘れない
4. 会話はマスクをつけて15分以内
5. 家も職場も、毎日掃除と消毒



ご家族に感染が疑われる場合

ご家庭でご注意いただきたい8つのポイント

1. 部屋を分けましょう
2. 感染者のお世話はできるだけ限られた方で
3. マスクをつけましょう
4. こまめに手を洗いましょう
5. 換気をしましょう
6. 手で触れる共有部分を消毒しましょう
7. 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう
8. ごみは密閉して捨てましょう

(詳細は別紙を参照ください)

◆ まずは医療関係部門へ電話

別添の医療関係部門の連絡先参照を参照下さい。

◆ 法人への連絡⇒感染拡大を回避するためにも必須です。

家族に感染者あるいは感染の疑いが出た場合、濃厚接触の可能性がある場合、速やかにご連絡下さい。初動作の遅れが思わぬ感染拡大につながりかねません。特に最近は、家庭内感染が急増しています。施設内への感染は何としても避けなければなりません。

別添「社会福祉法人由木かたくりの会 連絡先一覧」を参照下さい。

(上記医療関係部門の連絡先とともにわかりやすいところに貼っていただければと思います)

法人への要望事項

これまで法人としても職員の皆様が一体となって感染防止に努めていただいておりますが、今回改めて2月5日付けで「新型コロナウイルス感染者発生事由に関する要望書」を提出させていただき、回答を書面にていただいております。以下要約をお知らせします。

- 1) 利用者のご家族のどなたかが感染が疑われる症状の徴候が見られた場合、または陽性と判定された場合、保健所より濃厚接触者かどうかの判定に関わらず、速やかに法人にご連絡いただくことを再度徹底していただくこと。
→法人としても徹底します。

2) 保健所からの濃厚接触者の聞き取り調査に関しては、できる限り広範囲に PCR 検査の対象としていただくこと。
→法人としてはあくまで、国の方針をその基準として考えています。
法人独自の判断となると、ご納得頂けない場合の説明根拠が乏しいと考えます。従って公的な基準に頼らざるをえないと考えています。法人として、GH堀之内男性棟利用者に法人独自で1月最終週にPCR検査を実施しました。今後、国の基準を基本に法人としてもプラスαの対策について検討したいと考えます。

3) 職員の皆様に、PCR検査を受診していただきたい。
利用者の命を守るだけでなく、職員の命を守ることもつながります。
まずはGHの職員の方から優先的に受診をお願いしたい。
→「登録している全職員を対象とする」「あくまで接触の可能性が
ある職員を対象とする」等、その線引は難しいところです。
今回、PCR検査キットを購入しましたので、必要と判断される場合には検査していきます。

4) ご家族への連絡は迅速にお願いしたい。
これまで12報までいただいておりますが、連絡帳、FAX、電話と統一されていません。
連絡帳はGH入居者は遅く、FAXはかすれて見にくく、電話は曖昧になりがちなど考慮すると、最も早く正確なのはメールではないでしょうか。差し支えない範囲でメーリングリストを作成し、発信したらいかがでしょう。
→内容にもよりますが、法人内のルールとして、GH利用者は直接、通所事業所より電話連絡を行うことで統一しています。FAXに関しては、聴覚障害の方について実施しています。今回、電話連絡に対して負担を感じてるとのご家族に一部FAX対応をしています。電話連絡は、配布するお知らせを基本に連絡をしています。
現在、緊急連絡用のメーリングリストがありますが、全員の方が登録されているわけではありません。場合によってはメーリングリストの利用を含め、検討したいと思います。

5) 緊急連絡体制を再度徹底願いたい。
→別紙参照

間もなくワクチン接種も始まります。もうしばらくの辛抱です。
今後とも職員の皆様、会員の皆様が一丸となって、この難局を乗り越えて参りたいと思います。

役員会及び合同会議の内容報告

◎ 2020年 12月度(12月11日) ⇒Zoomによるオンライン会議

<役員会>

1) ありの会10周年記念品の配布

- ① 12月4日、役員協力により、会員全員(89名)に配布。余裕分については、今年度入会予定者に進呈する。
- ② 金券については、3月15日締め切りをもって、回収分を法人との間で精算。
- ③ 記念品については、連絡帳は使い易い、名前入りタオルはマイタオルとして喜ばれている、金券もぷらさ、喫茶で利用がスタートし、概ね好評。

2) 成人のお祝い品の準備(商品券、ぷらさのクッキー、カード)5名

3) 来年度の役員候補の選出について。立候補者が少ないことを想定して、

- ① 早期案内、早期回収(1月7日案内、1月22日回収)とする。
- ② 1事業部最低1名、立候補者がいない場合は輪番制とすることを案内に明記する。

(次ページへ続く)

4) ありんこ便りの発行

- ① 「ありの会」10周年記念特集として、内部者、法人、外部者から寄稿していただく。
- ② 2月末締め切り、3月初旬発行予定。

<合同会議>

- 1) 金券が授産品の購入につながっており、売り上げに貢献している。
- 2) 金券の紛失対応⇒確実に会員に手渡すように配慮が必要
- 3) 次期役員候補者の選出にあたっての協力依頼（入所年度など）
- 4) 成人祝対象者、新入会員の確認（早めの情報要請）

◎ 2021年1月度⇒新型コロナの為、役員会、合同会議とも中止

◎ 2021年2月度（2月5日）⇒Zoomによるオンライン会議

<役員会>

- 1) 成人対象者へのお祝い進呈
- 2) 10周年記念品の反響
金券は1月27日現在506枚回収（1/3）
連絡帳ケース、タオルは好評
- 3) コロナ感染に対する要望書（案）の確認
 - ① 感染が疑われた場合の速やかな法人への連絡
 - ② PCR検査の対象拡大
 - ③ 家族への迅速な「連絡」
- 4) 感染した場合の留意点、マニュアルを作成する。

<合同会議>

要望書提出⇒書面での回答を求める

お知らせ

利用者さんの異動

新入会

由木工房 喫茶 N Nさん
12月18日付

退会

かたくりの家生活介護 O Tさん
2月19日付

祝！10年勤続

ぶらさ.de.かたくり： F Kさん
かたくりの家 B型： T Kさん

10年の間、由木かたくりの会で頑張ってこられたお二人。これからも元気に活躍されることをお祈りし、応援しています！ 法人とありの会より4月の入会式の日に記念品を贈らせていただきます。

法人より 表彰状
ありの会より アニバーサリークッキー、商品券

お悔やみ

内田孝男様（かたくりの家生活介護 内田 Gさんのお父様）

心よりご冥福をお祈り申し上げます。